

農を活かした健康福祉の里づくり事業

発行日:2026年1月

編集・発行:北中城村役場 農林水産課

住所:北中城村字喜舎場 426-2

電話:098-935-2260

FAX:098-935-5536

【健康・福祉の里プロジェクトとは】

- 農を中心とした「食・育・観・住」連携による健康・福祉の里づくりとして4つのテーマに関する取り組みを段階的に進めることで「北中城みらいづくり」の実現を目指します。
- 具体的な施設整備等は、4つのテーマに基づき、6段階に分けて進めていきます。
- 現在、第一～第三段階整備の事業者が決まり、第一段階整備ではバイオガス発電施設等の運用が開始しています。



■本事業で達成すべき4つのテーマ

- 1) 村農産物やエネルギーの地産地消/6次産業化商品
- 2) 農を活かした心身の健康増進
- 3) 村内外に北中城の魅力を伝える観光・体験型の場
- 4) 農を中心とした人と人との交流ある村での暮らし



各自治会イベントにて地域の皆様に本事業についての情報発信を行いました

- 2025年11月1日、2日には大城地区で開催された「第20回スージグワー美術館」及び、2025年11月29日、30日に茨道公民館で開催された「第38回総合展示即売会」にて、ご来場の皆様に本事業についてご紹介しました。
- 当日は、事業概要のパネル展示及び各種パンフレット等の配布を行うとともに事業区域の将来模型を展示し、本事業の経緯や取組状況についてスタッフが説明しました。
- 各回において寄せられた主な意見は、以下のとおりです。



■各回の主な意見

大城地区	・みどりを残した開発の方向性はよいと思う。 ・模型があると整備のイメージがしやすい。
応対人数 136名	・もっと村民に対して説明の機会を設け、本事業の周知をしてほしい。 ・市外の人でも本事業を応援できる具体的な方法があるとよい。 など
茨道地区	・病院とグランピング施設が隣接することのメリットを分かりやすく伝えてほしい。 ・買い物が不便なので、日用品が手に入る場所ができることは望ましい。
応対人数 108名	・隣接する中城公園や中城城址も歩いて回る健康づくりに資する取組を検討してほしい など



本事業に関連した取組や情報発信が拡大しています

- 村福祉課と医療法人アガペ会(第三段階事業者)が協力の下、2025年7月より農業を活用した通いの場のモデル事業「遊農くらぶ」を実施しています。これまでに6名が週2回(月・水)活動に参加いただいております。活動内容は参加者と意見交換の上、ジャガイモ・サツマイモ・島らっきょう・ニンニク・ニラ・玉ねぎ・ミニトマト・島唐辛子・春菊・人参などの野菜づくりに励んでいます。今後の取り組みなどもゆんたく会などを行なながら実施しています。利用者からは、「ここで育てるのが楽しくて、家でも苗を植えました」や「耕したり、野菜をつくったり、みんなで話しながらやると楽しい」といった意見が寄せられています。
- EM研究機構(第一・第二段階事業者)が「北中城村 EM ウェルネスガーデナー養成講座」として、農薬や化学肥料を使わない花や野菜の栽培を学べる講座を2025年11月から全3回(各月1回)で2コース(平日コース、休日コース)実施しました。参加者は39名(定員40名)と関心が高く、受講者アンケートでは約96%が「非常に満足」及び「満足」と回答し、「ガーデニングやプランターを始めるきっかけになりました」や「もっと土について学べる機会があれば、是非参加したいです」といった意見が寄せられています。



本事業を紹介するパンフレットを作成しました

本事業に興味のある方に本事業を紹介するパンフレットを作成しました！



村役場やEMユニバーサルビレッジ(第一段階整備)にて配布を予定しております！



【村からのお知らせ】

- 第一～三段階整備は、事業者により検討が進められています。村としては、第四～六段階整備についても、地権者のみなさまの意見を聞きながら、事業を進めたいと考えております。
- 地権者の皆さまには、アンケート等にご協力いただけるようお願いいたします。

【もっと知りたい方へ】

- 令和6年1月16日(火)より、村役場のホームページで「農を活かした健康福祉の里づくり事業」の紹介が始まっています。
- 「事業概要」からは、第一～第六段階整備の詳しい計画をることができます。

